

事務事業名	選挙啓発事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	選挙管理委員会事務局	H29係等名	啓発係	H28担当課等名 選挙管理委員会事務局				
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営					
	施策	91	市民参画による協働の促進					
目的	対象(誰・何を)	有権者		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	政治選挙への意識を高め、選挙違反のない明るい選挙の実現と投票率の向上を図る			有権者数(人) (9.2選挙人名簿登録者数)		85106	
	向上させたい上位施策の成果指標	自治意識の向上						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	投票率 26.8県知事選/26.12衆院選/27.4県議会議員選/ 28.7参院選/28.10市長選		60	50.01	60	63.85	
	成果指標	政治選挙学習会・研修会の参加者数(人)		900	1597	900	2031	
	定性目標							
事業概要	<p>民主主義の基盤である選挙が、明るく正しく行われるためには、市民一人ひとりが政治や選挙に関心を持ち、主権者としての自覚と豊かな政治常識、高い選挙道義を身につけることが必要で、そのため以下の事業を実施し啓発に努め、ひいては投票率の向上に繋げる</p> <ol style="list-style-type: none"> 話し合い、学習会の実施 公職選挙法の周知 指導者研修会 若い有権者に対する啓発活動 政治家・候補者等への啓発活動 学校選挙応援事業 							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	○若者の投票率向上に向けた啓発事業を重点実施する。							
	1 短大生の明るい選挙推進協議会活動の推進			1 参加数		1 4人		
	2 高校生・短大生への選挙啓発			2 啓発回数		2 3回		
	3 中学生への選挙啓発			3 啓発回数		3 5回		
	4 小・中学生に対する意識啓発			4 啓発ポスター応募数		4 611点		
	5 新有権者に対する啓発活動			5 パースデーカード送付数		5 4,001件		
	6 一般有権者に向けた明るい選挙の推進			6 啓発回数		6 43回		
	7 参議院議員通常選挙と市長選挙における選挙啓発			7 啓発回数		7 21回		
8 高校生の投票事務従事による選挙啓発(参議院議員通常選挙)			8 事務従事者数		8 22人			
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		499	495	335	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		499	495	335				
人件費計(千円)②		1,073	1,073	1,073	0			
正規職員所要時間		300	300	300				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		1,572	1,568	1,408	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		若者の政治参加を図ることを目的に選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた 投票率の動向については選挙時の政治情勢等様々な要因が起因している 投票率向上には常時啓発が必要と考える 若者の投票参加の取組みについても課題となっている						
改革改善の考え方	①問題点	選挙における若者の投票率の低迷						
	②改革提案	新有権者となる学生の組織(飯田下伊那100計画実行委員会・飯田女子短期大学学生会)が主体となり、明るい選挙推進協議会と協働で政治意識や選挙に対する関心の向上を図ることにより、若年層の選挙意識の向上に結び付ける						